

非常災害対応訓練

11月1日（水）、地震を想定した避難訓練を行いました。夜間に震度6（相当）以上の地震が起こった事を想定しており、職員が地震発生のアナウンスを行い、管理部門との連絡体制の確認を行います。

アナウンスを聞いた各棟の職員は棟内を巡回し、怪我人の有無、二次災害の危険性、建物設備、ライフライン状況等を確認後、事務所へ報告を行い、報告を受けた管理部門から指示を出すという訓練です。また、電気が使えない状況を想定しているので、発電機の保管場所や使用方法も確認しました。

万が一災害が起きた際にも訓練通りスムーズに動けるよう、今後も訓練を続けていきたいと思えます。



さつまいも収穫しました♪

今年は去年に比べて不作の年でした。小さいサイナスが多い…。やはり夏の暑さが原因でしょうか？



湘南ミニフェスタの時に焼き芋にして、その芋でさつまいもプリンを作って食べました！

※湘南ミニフェスタの詳細は裏面をチェック！

訪問リハビリテーションとは



訪問リハビリテーションとは、病院、診療所、介護老人保健施設の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が、病院や施設に通うのが困難な利用者様の自宅を訪問し、心身の機能の維持・回復、日常生活の自立を支援するために、理学療法、作業療法等のリハビリテーションを行うサービスです。

訪問リハビリテーションは、原則3ヶ月に1回診察が必要です。3ヶ月ごとに利用者様の皆様に施設にお越しいただき、施設医師の診察を受けて頂いています。

血圧、脈拍、体温、血中酸素飽和度、
→ 先生の診察を受けます。
体重を測ります。



感染対策委員会からのお知らせ

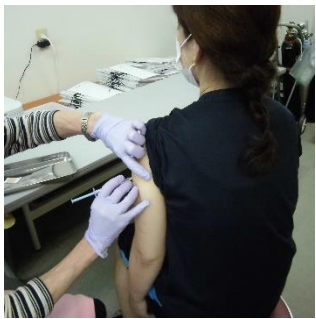
新型コロナウイルス感染症が五類対応となり、市内の感染状況がわかりにくくなりましたが、感染症が終息したわけではないので、ワクチン接種は予防対策としてとても重要です。

当施設でも、新型コロナウイルス7回目接種を10月下旬に利用者様、職員とも実施いたしました。

また、今年はインフルエンザの流行もすでに始まっていますが、混乱を避けるため、新型コロナウイルスの後にインフルエンザワクチンの接種とされています。

どちらの感染症も高齢者施設では、感染が発生するとクラスター（集団感染）になる危険性が高いため、利用者様の免疫力向上の一助になればと願っています。

（看護師長 安藤ひと美）



インフルエンザが流行していますうがい手洗いをしっかり行いましょう！



9月1日に法人50周年を記念して豪華な昼食が振舞われました！



祝 法人50周年記念！

社会福祉法人幸清会 理事長
大久保 幸積



社会福祉法人幸清会は、老人福祉法が施行された10年後の1973年4月28日に初代理事長の久保幸治郎によって、虻田郡虻田町（現洞爺湖町）清水13番地で設置認可を受けました。

法人最初の施設は、同虻田町入江257番地に1973年11月1日開設された第1種社会福祉事業、定員50名の養護老人ホーム幸生園です。これまで多くのおみなさまのご支援を受け、2023年4月28日には50周年を迎えることができました。衷心よりこれまで賜りましたご厚情に深く感謝申し上げます。

さて、社会福祉法人とは、社会福祉事業を行うことを目的に、社会福祉法に基づいて設立されている法人です。公益性が高い非営利法人であり、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ公正に行うことが求められる民間団体です。

社会福祉法人は、全国に約2万法人あります。これからもみなさまの暮らしを支える存在として、多くの人々に必要とされ、地域の期待に応える活動に取り組みながら、魅力とやりがいを実感できる事業を目指してまいります。

一般棟ミニフェスタ



一般棟

10月11日、恒例となったミニフェスタを開催しました。

中庭で収穫したさつまいもで焼き芋やさつまいもプリン、お祭りらしくわたあめをみんなで楽しみました🍠



専門棟ミニフェスタ

10月11日、専門棟ミニフェスタが開催されました。

焼きそば・たこ焼き・つくねにクレープ、食欲の秋でみなさんたくさん召し上がっていました。

またレクリエーションでカラオケや射的のゲームを行い、お祭りの雰囲気を楽しんで頂けました♪



発行 介護老人保健施設プライムヘルシータウン湘南



- 通所リハビリテーション事業
- 訪問リハビリテーション事業
- プライムヘルシータウン湘南居宅介護支援事業所
- ヘルパーステーション湘南
- レンタルサービス湘南

〒052-0012 伊達市松ヶ枝町 157 番地 110 / Tel 0142-22-1200

ホームページ <http://www.koseikai-wel.or.jp/>